加古川市立氷丘小学校 学校だより6号

令和4年7月4日





~ 子どもたちを水害から守る ~

暑さが日ごとに増してまいりましたが、保護者の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。学校では6月20日(月)から水泳指導が始まりました。 昨年同様に 一度にプールに入る人数を制限する。水泳均道にあたる数量以外

昨年同様に、一度にプールに入る人数を制限する、水泳指導にあたる教員以外 の職員が見守りをする、市の規定に則ってプール施設の消毒をする等、新型コロン

対策を講じて水泳指導を行っています。今年は観測史上最速の梅雨明けとなり、6月とは思えない暑い日もありました。子どもたちは大喜びで水と触れあい、意欲的に水泳学習に取り組んでいます。 マキで水難東牧が増加するのまこの時期です。 氷ら小学校区内により思水吸や大きな港など水に

一方で水難事故が増加するのもこの時期です。氷丘小学校区内にも、用水路や大きな溝など水に関わる危険箇所が多く見られ、そうでない場所でも大雨の影響で危険箇所に変わってしまう所があります。今一度、危険箇所の確認と命を守ることの大切さについてご家庭で話し合っていただきますようお願い申しあげます。

さて、夏休みに入ってから全家庭対象に「個人懇談会」を実施します。短い時間ですが、学校での様子やご家庭での様子を中心に話し合いができればと考えています。保護者の皆様との連携により子どもたちの成長を願う学校としましても「個人懇談会」がよい機会になればと考えています。よろしくお願いいたします。

7月の予定

- 1日 (金)「おなか元気教室」出前授業1年 「深海魚の光の秘密」オンライン授業6年
- 4日(月)全校朝会(リモート) 委員会活動
- 5日(火)諸費振替日(1回のみ)
- 6日(水)代表委員会(業間) 個人懇談個票配布日 PTA 常任委員会 チャレンジクラブ (囲碁・キンボール)
- 9日(土) PTA 廃品回収(予備日 7/16)
- 10日(日)参議院選挙
- 11日(月)クラブ活動
- 13日(水)チャレンジクラブ(囲碁・相撲)
- 15日(金)子ども安全の日 校内安全点検日 ベルマーク回収
- 18日(月) 海の日
- 20日(水)給食終了 大掃除 班長会議 インターネットトラブル防止講座
- 2 1 日 (木) 地区児童会 (3校時) 地区別下校 給食なし 下校時刻: 11:45頃 スクールカウンセラー来校日
- 22日(金)第1学期終業式 給食なし 下校時刻:11:45頃
- 25日(月)個人懇談会①(中津) 夏季休業日~8/31
- 26日(火)個人懇談会②(大野・美乃利)
- 27日(水)個人懇談会③(河原・西大野)

8月の予定

2 2 日 (月) 全校登校日 (通常登校・10:00 下校)

23日 (火) ALT による ENJOY チャレンジ 10:00~11:30 (多目的室 2)

※参加児童には先日案内を配布しています。

~出前&オンライン授業~

7月1日(金)に、

1年:「おなか元気教室」出前授業

6年:「深海魚の光の秘密」オンライン授業

|| が行われました。





どちらの学習も子どもたちは興味 津々、とても楽しそうでした!!

~ 「心の強い子」を育てる ~

もう10年以上前になりますが、毎月学校に届けられる「子ども防犯ニュース」にあったお話が印象的だったので、ご紹介したいと思います。

『心の強さが大事な時代』

東京学芸大学名誉教授・東京成徳大学子ども学部特任教授:深谷和子

朝起きて、何となく物悲しい時が誰にもあるのではないでしょうか。それはたぶん、心の力が弱まっている時なのでしょう。目の前にあるいくつもの課題、難問を切り抜けていくことに自信がなくなっているのは、心が弱っていて、心の強さが弱まっているからでしょう。またある日、元気に起きて、さあ今日も1日がんばろう、何があっても大抵はうまくいくだろうと思える日は、心の力が強くなっているのかもしれません。 ~中略~

誰でも、めげている日、やる気の出ない心の力の弱い日も珍しくありませんが、でも、いつもコンスタントに心の力が強い自分でありたいですね。

ここで「リジリエンス」という言葉、最近、専門家の間でぼちぼち使われはじめている言葉ですが、それをご紹介しておきますね。発音がやや難しいので、なかなか広がりませんが、これからは使われるようになっていくでしょう。実は今まで、ここで「心の強さ」とか「心の強い子を育てる」と言ってきたのは、このリジリエンスの概念だったのです。もともとは物理学の用語で「弾性」を意味する言葉だったのですが、それを心理学で取り入れて心理学者が使い始めたのです。鋳物のように重たくて丈夫な感じがするけれど、衝撃には弱くて、大きな力が加わるとポキッと折れてしまう金属と、鉄鋼(ノコギリをイメージしてください)のように、薄くても弾力があって、少々の力には耐えられて、しかも加わる力が弱まると、元に戻る。そんな金属の性質の違いを弾性(リジリエンス)で表します。人生にはいくつもの悪い出来事が起こると思われます。とてもつらい大きな出来事、親の死とか、失業とか、火事で家が焼けるとか、病気とか、もっと小さい出来事では、いじめとか、試験の点数が悪かったとか、お金を落とした、クラス替えがあったとか。それでダメージを受けて、決定的につまずいてしまうようなリジリエンスのない子と、一時的に落ち込んでも、やがて立ち直って元気にやっていくリジリエンスのある子がいます。

誰でもそうしたバネの力をもった(リジリエンスのある)子どもが望ましいと思っています。一緒に「小の強い子に育てる」方法を考えていきましょう。

学校で学習する時にも、この「リジリエンス」が必要だと改めて思います。体にもバネが必要で育てたい力ですが、実は心のバネも必要で育てたい力だと考えています。ちょっとしんどいと逃げ出してしまう、苦手だったり面白くなければやろうとしない、そんなリジリエンスのない子どもではなく、できなくてもしんどくても、何度失敗しても、自分自身の弾力で立ち上がっていくリジリエンスのある子を育んでいきたいと思います。それが子どもたちの「生きる力」「未来への道を切り拓く力」に繋がっていくはずです。